

平成30年度「みえ高校生県議会」質問内容と答弁の概要(平成30年8月21日開催)

総務地域連携常任委員会関係分

※答弁の概要には現状説明の部分は省略しています。

学校名	質問項目等	今後の対応等に関する答弁の概要	答弁した委員長
津田学園高校	○三重県南部の人口減少に対する取り組みについて 県南部の人口減少対策について、県の取組成果と今後の展望について伺いたい。	・移住の促進を目的とした「暮らしやすくなる取組」を進めるほか、集客交流等による産業振興を図る「住み続けやすくなる取組」、高校生の郷土への愛着を高めたり、南部地域の仕事と暮らしを知るインターンシップを促進するなどの「戻りやすくなる取組」を同時に進めることが重要だと考えている。	服部委員長 (総務地域連携)
四日市南高校	○観光資源の持続的な経済活用について 観光客を持続的に増加させるための交通の利便性で問題があるが、どの程度把握していて、どのような対策をとっていくのか。	・リニア中央新幹線が東京名古屋間で2027年に先行開業され、2037年には大阪までのびて、この三重県にもリニアの駅が開設される予定になっている。そうしたことも調査、研究を行って、観光、産業をはじめとする様々な分野で公共交通の波及効果を探っていきたいと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)
津西高校	○自動車の利用とCO2削減について 公共発電自転車の開発と普及によりCO2の削減ができると思うが、いかがか。	・現在、自転車による発電はシンボリックな取組の一つに留まっているところなので、大規模発電による電気の大量消費から身近な小型発電による省エネへと県民意識の転換を促すことと併せて研究していきたいと考えている。	廣委員長 (環境生活農林水産)
	宅配サービスと旅客の乗降との両方の機能を併せ持つ小型バスの利用によりCO2の削減ができると思うが、いかがか。	・事業者間調整に一定の時間を要するので、直ちに実現できるというものではないが、環境負荷の低減や資源の有効活用という観点からも有益な取組であると考えており、今後も前向きに進めていくよう執行部に求めていきたいと考えている。	廣委員長 (環境生活農林水産)